

皆様こんにちは！今回は8月19日に参加した「第38回 We are Sneaker Ages」の様子をお届けします。

今年の英真はスニーカーにかける情熱が違いました。なぜなら、去年は予選を通過し準決勝まで進んだものの、全く自分たちのパフォーマンスができず、悔しい思いをしたからです（去年の詳しい様子は軽音楽部ニュースのバックナンバーをご覧ください）。特に去年も出場した3年生は「今年こそはグランプリ大会へ!!」とアツイ思いを持って大会に臨みました。

様々な思いを背負って…いざ開幕！！



今年のテーマは「夏」！今年も応援団長が作ってくれたミサンガを腕に、結束を固めます。



そして本番…

並居る強豪校に臆することもなく、大きなステージで精一杯パフォーマンスをしました！



演奏後インタビューでは女子メンバーが涙ナミダ…。しかし意外にも、一番泣いたのはY君でした。



ステージ袖から出てきたところでまたナミダ…

でも精一杯やりきったので、最後は笑顔です！！



しかし精一杯演奏したものの、個々にそれぞれミスもあり、今年は予選落ち。グランプリ大会への夢は潰えました。

残念な結果とはなってしまいましたが、大きな収穫もありました。それは大会が終わった後のミーティングで**出演者全員が泣けた**こと。何かが終わった後に泣けるくらい本気で取り組むことはなかなかできません。**全員が思いを持って、練習・本番に挑めた証**だと思います。この経験を通して、出演したメンバーが大きく成長したのはもちろんのこと、それを目の当たりにした他の部員たちにも得るところがあったと思います。

このような経験から持った強い思いを、次世代に伝えていく。簡単なことようでこれがなかなかムズカシイのですが（大人でも）、9月の引退を見据えてしっかりと伝えていって欲しいと思います。朝から晩までの長丁場で引率する側もクタクタですが、英真学園軽音楽部の成長をしっかりと見ることができて嬉しかったです。みんなありがとう。引退まであと少し、ともにがんばりましょう！



おつかれさまでした!!!

次回は「やおーん!!2017@大阪城野外音楽堂」のレポートです。お楽しみに！